

トピック — はくさいの価格動向 —

今年のはくさいの卸売価格は3月上旬より下落に転じ、それ以降、平年を下回って推移している。5月中旬の卸売価格は35円/kgとなり、直近10年で見ると、東日本大震災による原発事故の影響で価格が暴落した平成23年に次ぐ低い水準になっている。

これは、

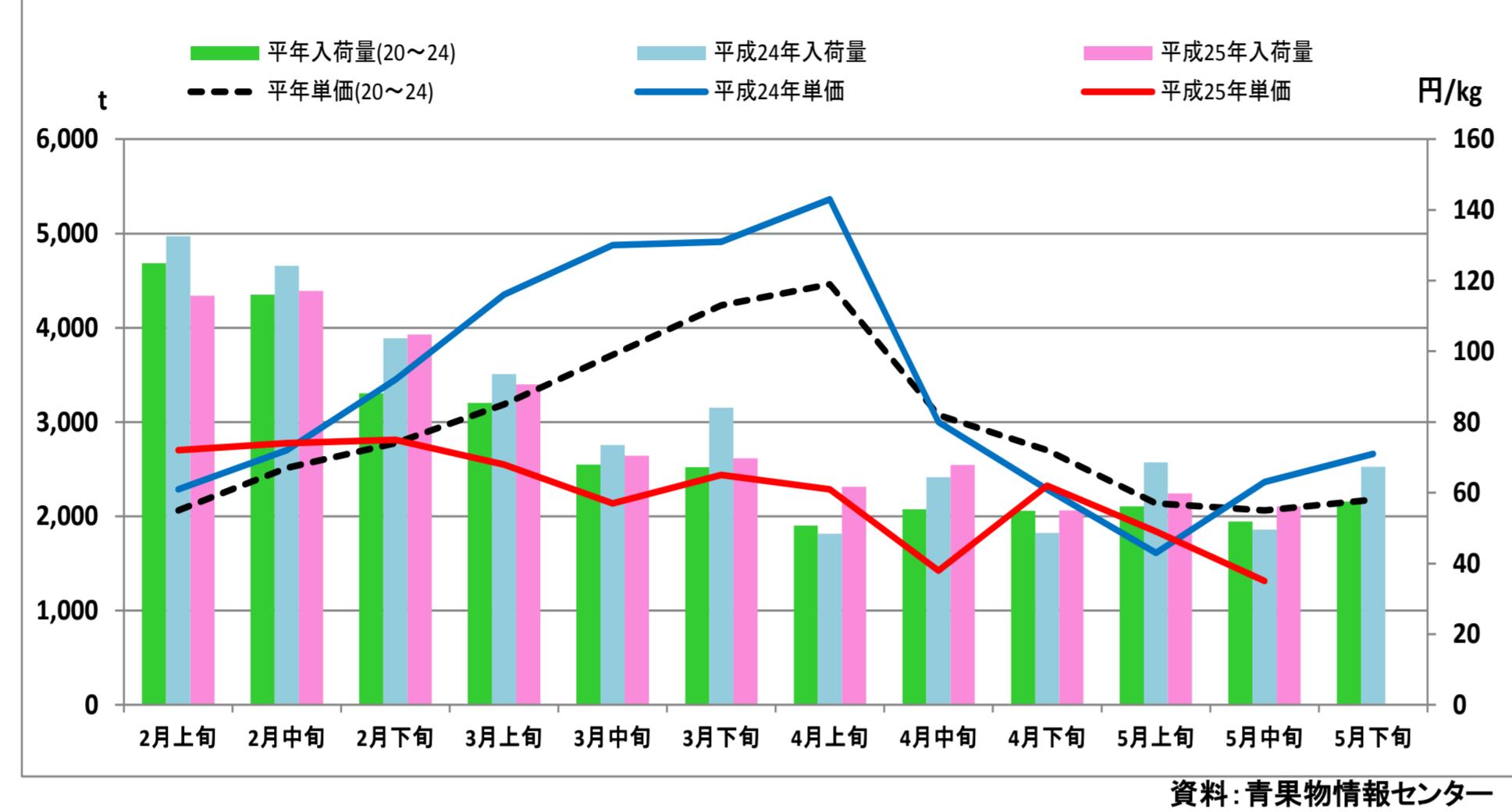
- ① 主産地である茨城の天候がはくさいの生育に適した状況で推移し、ほとんどの旬で平年を上回る入荷量となった一方で、
- ② 需要面では、昨年の2~4月は、はくさい漬けの消費が堅調であったことから、漬物用のはくさいが不足し、業務筋が市場から買い入れしたこと等により、価格が高騰したのと対照的に、今年は、昨年8月に北海道で発生した浅漬けが原因の集団食中毒事件の影響で、はくさい漬けの需要が落ち込み、現在も需要が回復していないこと

等によるものと思われる。

今後は気温の上昇に伴い、はくさいは、家庭での消費量が落ち込む季節となる。一方、供給面では、茨城産に続き、後続産地の長野産も生育が順調で出荷が開始していることから、今後も潤沢な供給が見込まれ、漬物需要の回復がなければ、漬物加工用に生産されたはくさいが市場に流れ、さらに価格を下げる可能性もある。

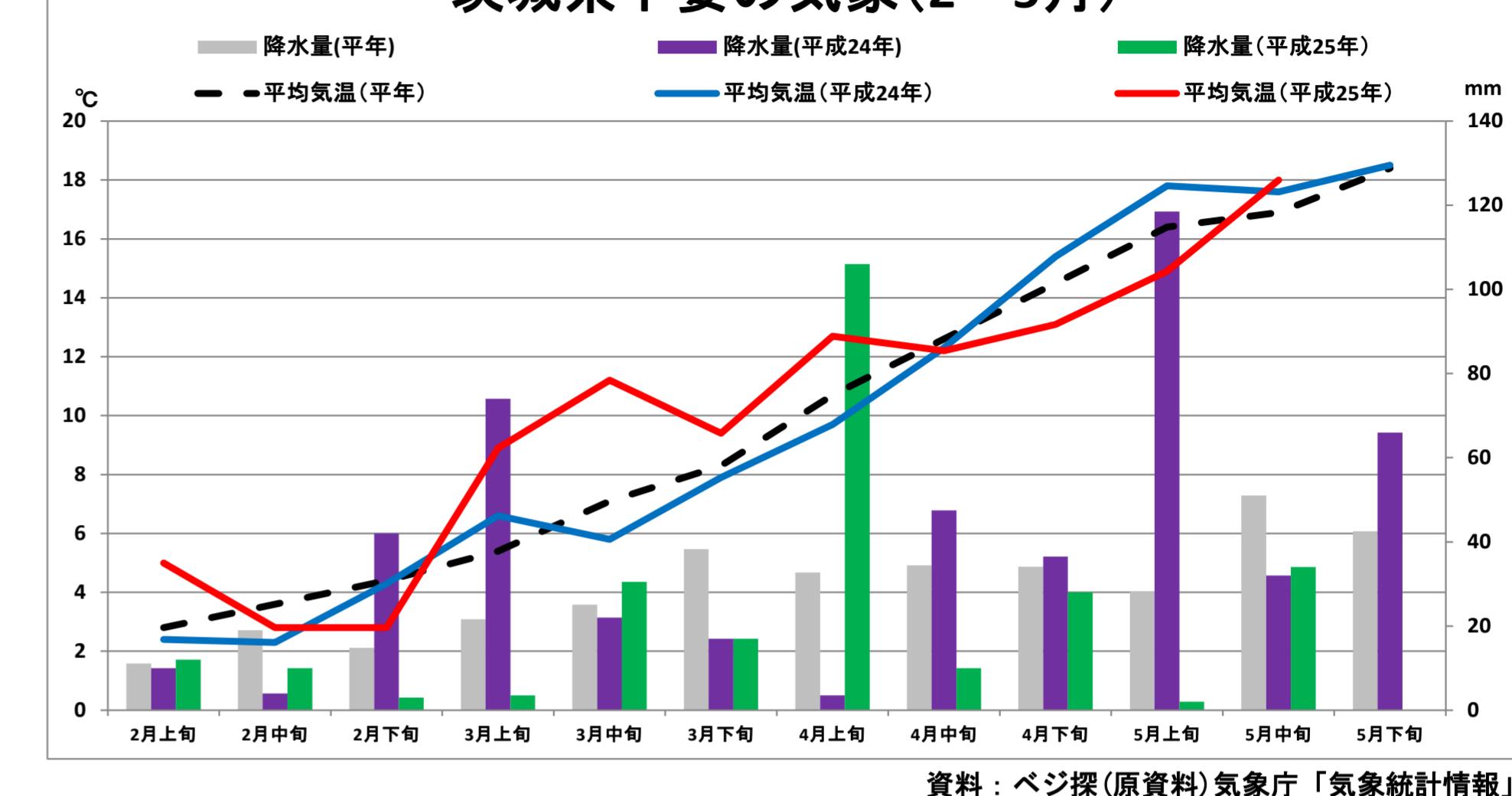
このような状況を関係者で十二分に共有し、新たなメニューの提案等により、積極的な消費拡大の取組みを早急に進めるとともに、次年度以降の需要動向を見据えた生産のあり方について、十分な検討を行うことが急務になっている。

はくさいの入荷量と卸売価格の推移(2~5月 東京都中央卸売市場)



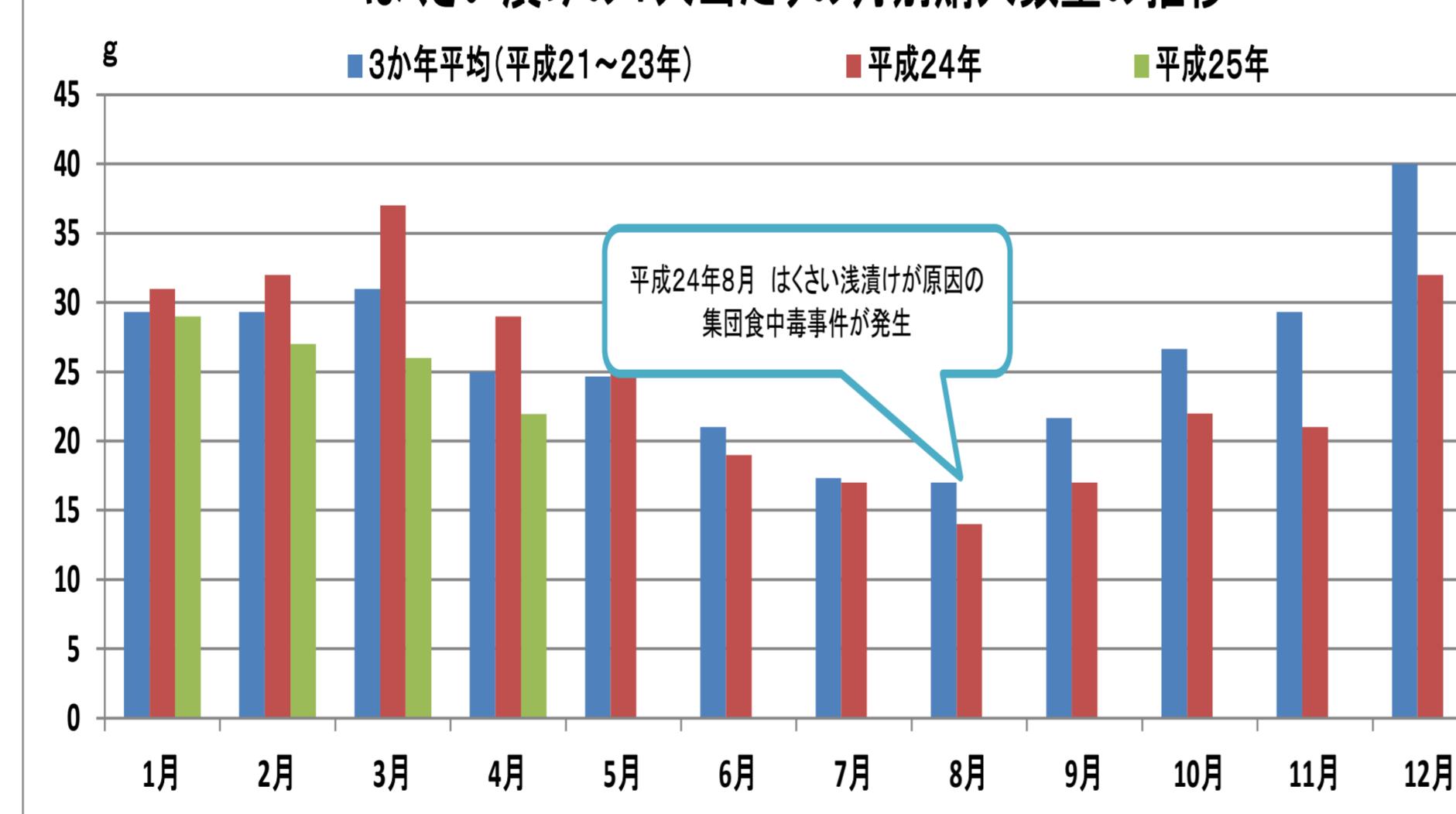
資料:青果物情報センター

茨城県下妻の気象(2~5月)



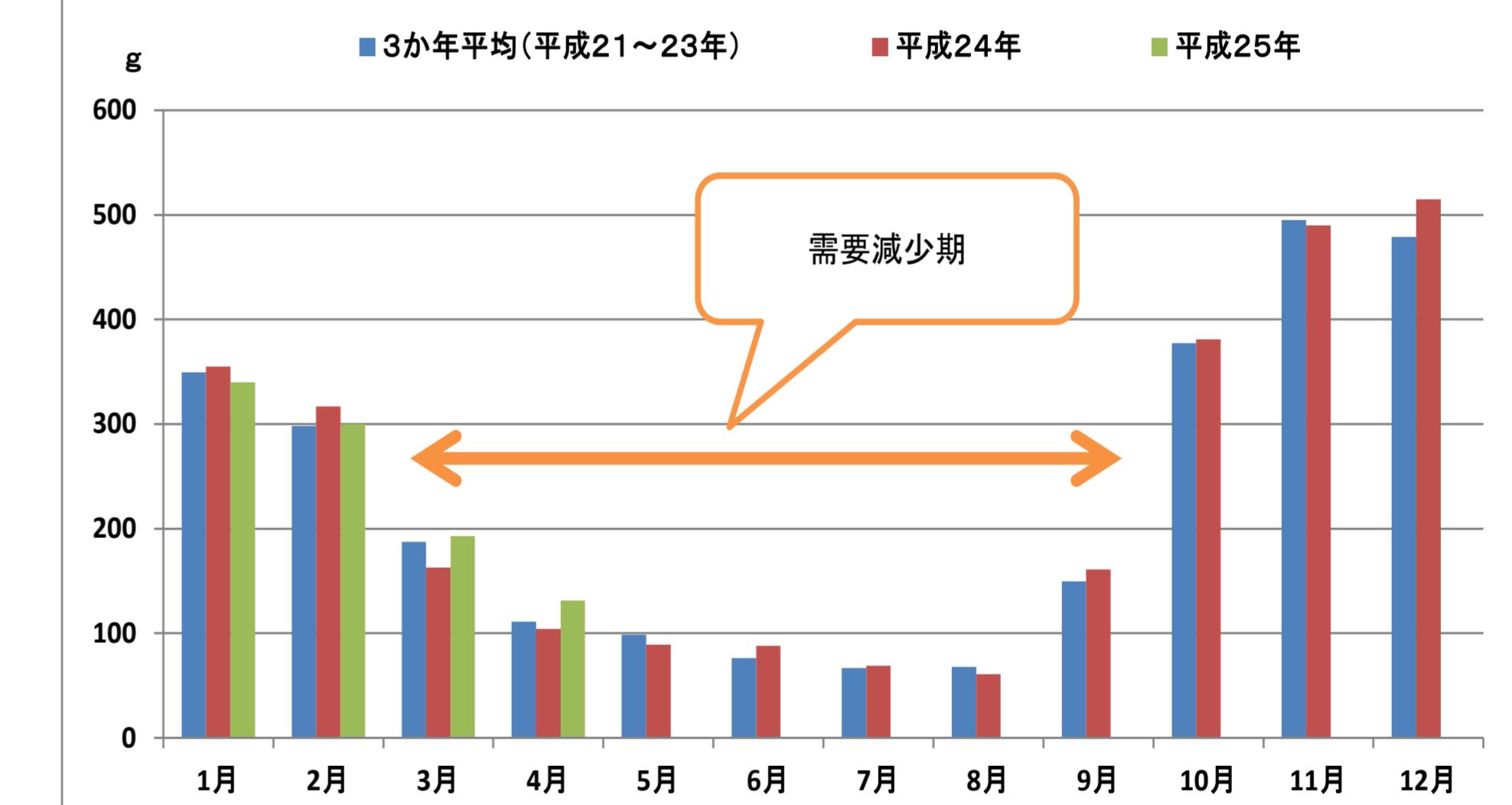
資料:ベジ探(原資料)気象庁「気象統計情報」

はくさい漬けの1人当たりの月別購入数量の推移



資料:ベジ探(原資料)総務省「家計調査(二人以上世帯(農林漁家世帯を除く))」

生鮮はくさいの1人当たりの月別購入数量の推移



●問い合わせ先 独立行政法人農畜産業振興機構 野菜需給部 需給業務課 村野、三部、須藤、山田 TEL03-3583-9483、FAX03-3583-9484 ご意見、ご要望をお寄せください。

◆「野菜の需給・価格動向レポート」は月2回公表しています。公表時にメルマガでお知らせしますので、ご希望の方はベジ探のトップ画面、メルマガ配信登録・解除ボタンから登録してください。

★この「野菜の需給・価格動向レポート」は、http://vegetan.alic.go.jp/vegetable_report.html に掲載しています。